

枚方市障害福祉計画（第7期）・枚方市障害児福祉計画（第3期）

成果目標の進捗状況について

◆障害福祉計画（第7期）

目標とする項目および目指すべき方向		目標	実績	説明
(1) 施設入所者の地域移行者数 令和8年度末までに令和4年度末時点の施設入所者 176 人の 6%以上が地域生活に移行することとして見込みます。	↗	11 人	10 人	令和6年度末の数値であり、計画期間内には目標達成が見込まれます。なお、実績の内訳は令和5年度は2名、令和6年度は8名となります。
(2) 施設入所者の削減数 令和8年度末までに、令和4年度末時点における施設入所者 176 人から 1.7%以上を削減することとして見込みます。	↗	6人	△5人	令和6年度末の数値であり、入所者は増加傾向にあり、目標には届いていない状況です。なお、実績の内訳は令和5年度は入所13名退所15名、令和6年度は入所21名退所14名となります。
(3) 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築	—	充実	充実	自立支援協議会の精神障害者地域移行部会を協議の場として位置づけ取り組みを行っています。
(4) 精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数	↗	325.3 日	325.6 日	令和5年度の数値であり、当該時点では目標値を達成しています。 ※大阪府令和5年度退院患者調査報告書より
(5) 令和8年6月末時点の精神病床における1年以上の長期入院患者数	↘	213 人	183 人	令和6年度の数値であり現時点では目標を達成しています。
(6) 精神病床における早期退院率 入院後3か月時点	↗	68.9%	58%	令和5年度の数値であり、当該時点では目標には届いていません。 ※大阪府令和5年度退院患者調査報告書より
(7) 精神病床における早期退院率 入院後6か月時点	↗	84.5%	83.8%	令和5年度の数値であり、当該時点では、おおむね目標を達成しています。※大阪府令和5年度退院患者調査報告書より

目標とする項目および目指すべき方向		目標	実績	説明
(8) 精神病床における早期退院率 入院後1年時点	↗	91%	90.6%	令和5年度の数値であり、当該時点では、おおむね目標を達成しています。 ※大阪府令和5年度退院患者調査報告書より
(9) 地域生活支援の充実	—	充実	充実	地域生活支援拠点等について、機能充実のため、障害福祉専門分科会の連携機関であるワーキンググループ会議等で検証・検討をしました。現時点で地域移行について必要な5つの機能のうち、「相談」「地域の体制づくり」「緊急時の受け入れ・対応」「専門的人材の確保・養成」について整備が完了しており、残る「体験の機会・場」の整備を進めて参ります。また、強度行動障害者への支援体制を整備できるよう取り組んでいます。
(10) 福祉施設から一般就労への移行数 令和8年度における目標数値。令和3年度の1.28倍以上を府域の目標として設定し、この目標数値を市町村ごとに按分された数値を目標として見込みます。	↗	109人	145人	令和5年度の実績値であり、当該時点では、目標を達成しています。 ※大阪府令和5年度就労人数調査より
(11) 就労移行支援事業を通じた一般就労への移行数 令和3年度の1.31倍以上を府域の目標として設定し、この目標数値を市町村ごとに按分された数値を目標として見込みます。	↗	76人	107人	令和5年度の実績値であり、当該時点では、目標を達成しています。 ※大阪府令和5年度就労人数調査より
(12) 就労継続支援A型を通じた一般就労への移行数 令和3年度の1.29倍以上を府域の目標として設定し、この目標数値を市町村ごとに按分された数値を目標として見込みます。	↗	24人	27人	令和5年度の実績値であり、当該時点では、目標を達成しています。 ※大阪府令和5年度就労人数調査より

目標とする項目および目指すべき方向		目標	実績	説明
(19)障害福祉サービスの質の向上を図るための体制構築 令和8年度末までに、不正請求の未然防止等の観点から報酬の審査体制の強化等の取り組み、指導権限を有する者との協力連携、適正な指導監査等の実施に取り組みます。	—	充実	充実	障害福祉サービス等に係る各種研修の参加人数 5人 審査支払等システム等での審査結果を分析・活用し、事業所や関係自治体等と共有する体制の有無及びそれに基づく回数 7回 障害福祉サービス事業所等に対する指導監査の結果の共有回数 2回

◆障害児福祉計画（第3期）

目標とする項目および目指すべき方向		目標	実績	説明
(1)重層的な地域支援体制の構築、障害児の地域社会への参加・包容の推進 市立ひらかた子ども発達支援センターを本市における発達上支援が必要な児童のため支援機関の拠点とし、同様に支援機関として事業を実施している市内の事業所との連携を通じて、重層的な地域支援体制の充実に努めます。また、障害児の地域社会への参加・包容を推進する体制の構築に努めます。	—	充実	充実	関係機関との連携を図りながら、支援や配慮を必要とする子どもたちに対する相談支援や、保育所（園）に対する巡回相談・保育相談などに取り組み、地域における障害のある子どもたちへの支援を行いました。 相談支援件数 延べ 1,471 件 巡回相談・保育相談件数 延べ 1,408 件 保育所等訪問支援件数 延べ 6回
(2) 主に重症心身障害児を支援する事業所の確保 令和8年度末における目標数値。児童発達支援、放課後等デイサービス事業所の設置状況を踏まえて見込みます。	↗	児童発達支援 12 か所 放課後等デイサービス 15 か所	児童発達支援 6 か所 放課後等デイサービス 9 か所	令和6年度末の数値 重度の障害児の受入れ促進の観点より、看護師を配置し、市内の医療的ケア児等を受け入れる市内事業所に対し、補助金を交付しています。 令和6年度実績は1事業所に補助し、7人の医療的ケア児の受入れにつながりました。
(3)医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置及びコーディネーターの設置	—	設置	設置	関係機関の協議の場 平成31年4月1日付設置 コーディネーター 平成31年4月1日付設置 令和7年1月に医療的ケア児等支援連絡会議を開催し、医療的ケア児支援法の施行に伴う取組状況や支援における課題を議題として、関係機関との情報共有、意見交換を実施しました。